

要約

「はだの野鳥の会」の 1985 年から 2013 年までの活動記録をまとめた。定点観察活動、定点以外の観察活動と随時の個人観察活動の結果である。

内容は秦野市全体の野鳥状況、観察地区毎の特徴、観察記録、初認終認記録、ガンカモ調査、シギ・チドリ調査などからなっている。

定点観察地は基本的には複数年に亘る調査を基本として、蓑毛自然観察の森、南平橋周辺、くずは溪谷、鶴巻水田地区、古墳公園/水無川周辺、四十八瀬川/甘柿橋、頭高山周辺、くずは緑地、上/柳川地区、大倉/西山林道、東電変電所/ふるさと公園、表丹沢野外活動センター/桜沢林道、今泉名水桜公園/震生湖、大根/鶴巻地区の 14 箇所で行っている。定点観察地以外で複数回の観察が行われた名古木、弘法山、南地区(南が丘、震生湖)、北地区(蓑毛、ヤビツ峠)の結果も全体の観察結果に組み込んだ。

この他、会員の個人観察を含めて、秦野市全体の野鳥観察記録とした。

野鳥分類は最新の日本鳥学会日本鳥類目録改定 7 版に従った。

これらの記録より、秦野市では 1985 年から 2013 年に **19 目 47 科 148 種**が観察された。この全市の記録から、良く見られる野鳥、普通に見られる野鳥の 90 種と時折見られる野鳥の中から 10 種を選んで秦野の野鳥 100 種とした。この 100 種の野鳥と秦野市では珍しい野鳥 15 種の写真を掲載した。

また、はだの野鳥の会員個人の観察結果から、冬鳥と夏鳥の初認・終認時期の記録と、会の活動として行っているガンカモ調査、シギ・チドリ調査の結果もまとめた。